

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	172
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
			農業振興ビジョン		
法令・例規等					
事業目的		対象	市田柿、南信州牛をはじめとする農畜産物 農業者（農地所有適格法人、一般法人等含む）		
		意図	ブランド力の向上や6次産業化による農畜産物の付加価値向上、販路拡大による収益増		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	市田柿は、新たな販路拡大として、海外展開としては三遠南信と連携した取組、国内展開としてはブランド推進協議会等と連携した取組を実施しました。「飯田のファン」づくりの取組として、産地ツアーの実施やSNS等を活用した情報発信を行いました。畜産物ブランド推進協議会と連携し、銘柄豚PRツールとしてパンフレットを作成しました。また、地域文化である焼肉を生かしたまちづくりを進めるため、食肉文化を持つ他地域と連携した「焼肉食文化のまち連合」の発足を目指し関係団体と協議を行いました。6次産業化の支援では、シードル醸造を目指す事業者の相談を行い、果実酒特区を活用して醸造所の建設に着手しました。		市田柿ブランド推進プロジェクト負担金他				1,066	
			農産物新マーケットチャレンジ事業				2,213	
			産地ツアー・ウェブサイト運営業務委託他				453	
			その他の経費				0	
	活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画	実績	計画	実績		
市田柿プロモーション活動数		回	3	4	5	3		
南信州畜産物プロモーション活動数		回	3	1	3	1		
海外展開プロモーション活動数		回	3	3	3	4		
農畜産物マーケティング活動数		回	3	8	3	3		
産地ツアー実施回数		回	3	3	3	3		
6次産業化事業計画認定件数（累計）		件	3	3	3	3		
市田柿輸出量		t	-	35	-	51.4		
1年度決算(千円)	予算額		4,531	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額		3,732	(そ)ふるさと寄附金				
	財源の状況	国庫支出金		0				
		県支出金		0				
		地方債		0				
		その他		10				
一般財源		3,722						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	34	1	1,081	1,066	市田柿ブランド推進プロジェクト事業費
2	1	6	1	4	34	5	2,959	2,213	農産物新マーケットチャレンジ事業費
3	1	6	1	4	34	7	491	453	地域農産物ファン創出事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		市田柿の海外展開では、輸出国の情勢等の影響により輸出量が減少しました。国内外ともにターゲットを絞って消費拡大に取組むとともに、産地基盤の強化と一体的に進める必要があります。「焼肉食文化のまち連合」の発足を契機に、飯田の特徴である食肉文化、当地域の畜産物のブランド化につなげていく必要があります。農畜産物の新たな付加価値を創出するため、農業者等の6次産業化の取組を支援していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		市田柿の消費拡大では、PRツールを持つ民間事業者等とも連携して効果的なプロモーションを展開する必要があります。「焼肉食文化のまち連合」による焼肉食文化の発信、畜産物のブランド化は、関係団体や生産団体等と連携して取組む必要があります。6次産業化の取組では、計画策定段階から事業者へ寄り添い支援する必要があります。							
次年度に向けての取り組み		国内外に料理教室を展開する事業者と連携して、若年層をターゲットとした市田柿のプロモーションを実施します。「焼肉食文化のまち連合」の発足に向けて、関係団体等と連携して準備を進め、焼肉食文化や畜産物のブランド化に取組みます。国の6次産業化総合化事業計画の認定や補助事業の活用など、継続した相談対応により事業者を支援していきます。							